

令和 7 年度 竹原浄化センター耐水化工事

図 面 リ ス ト							
建 築				電 気 設 備			
図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名		
T - 01	建築改修工事特記仕様書 (1)	A - 23	汚泥処理棟 部分詳細図 (1)	E - 01	管理棟-1 平・断面図 (耐水化前)		
T - 02	建築改修工事特記仕様書 (2)	A - 24	汚泥処理棟 部分詳細図 (2)	E - 02	管理棟-1 平・断面図 (耐水化後)		
T - 03	建築改修工事特記仕様書 (3)	A - 25	汚泥処理棟 部分詳細図 (3)	E - 03	水処理棟 ハンドホール詳細図		
T - 04	建築改修工事特記仕様書 (4)	A - 26	汚泥処理棟 部分詳細図 (4)	E - 04	水処理棟 平面図 (耐水化前)		
T - 05	建築改修工事特記仕様書 (5)	A - 27	汚泥処理棟 部分詳細図 (5)	E - 05	水処理棟 平面図 (耐水化後)		
T - 06	建築改修工事特記仕様書 (6)	A - 28	汚泥処理棟 部分詳細図 (6)	E - 06	土壌脱臭床 平面図 (耐水化前)		
T - 07	建築改修工事特記仕様書 (7)	A - 29	汚泥処理棟 部分詳細図 (7)	E - 07	土壌脱臭床 平面図 (耐水化後)		
A - 01	付近見取図	A - 30	汚泥処理棟 部分詳細図 (8)				
A - 02	工事概要・特記事項	A - 31	汚泥処理棟 部分詳細図 (9)				
A - 03	配置図	A - 32	汚泥処理棟 部分詳細図 (10)				
A - 04	管理棟-1 1階平面図	A - 33	汚泥処理棟 部分詳細図 (11)				
A - 05	管理棟-1 立面図	A - 34	汚泥処理棟 部分詳細図 (12)				
A - 06	管理棟-1 断面図	A - 35	汚泥処理棟 部分詳細図 (13)				
A - 07	管理棟-1 部分詳細図 (1)	A - 36	汚泥処理棟 部分詳細図 (14)				
A - 08	管理棟-1 部分詳細図 (2)	A - 37	汚泥処理棟 部分詳細図 (15)				
A - 09	管理棟-1 部分詳細図 (3)	A - 38	汚泥処理棟 部分詳細図 (16)				
A - 10	管理棟-1 部分詳細図 (4)	A - 39	汚泥処理棟 部分詳細図 (17)				
A - 11	管理棟-1 部分詳細図 (5)	A - 40	水処理棟 北棟 下層平面図				
A - 12	管理棟-1 部分詳細図 (6)	A - 41	水処理棟 南棟 下層平面図				
A - 13	管理棟-1 部分詳細図 (7)	A - 42	水処理棟 北棟 上層平面図				
A - 14	管理棟-1 部分詳細図 (8)	A - 43	水処理棟 南棟 上層平面図				
A - 15	管理棟-1 部分詳細図 (9)	A - 44	水処理棟 立面図				
A - 16	管理棟-1 部分詳細図 (10)	A - 45	水処理棟 断面図				
A - 17	管理棟-1 部分詳細図 (11)	A - 46	水処理棟 部分詳細図 (1)				
A - 18	管理棟-1 部分詳細図 (12)	A - 47	水処理棟 部分詳細図 (2)				
A - 19	汚泥処理棟 1階平面図	A - 48	水処理棟 部分詳細図 (3)				
A - 20	汚泥処理棟 立面図 (1)	A - 49	水処理棟 部分詳細図 (4)				
A - 21	汚泥処理棟 立面図 (2)						
A - 22	汚泥処理棟 断面図						

※A3出力時の縮尺を示す

[illegible]

3

防水改修工事

1

降雨等に対する養生方法

※ 改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨)による。
・

[3.1.3]

2

既存防水の処理

既存保護層の除去
・ 行う (範囲 ※ 図示
・) [3.1.4] [3.2.3、4.5]
・ 行わない
既存防水層の除去
・ 行う (範囲 ※ 図示
・)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗れの除去
(※ M4AS・M4ASI・M4G・M4DI・L4X)

[3.2.6]

3

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示
POS工法及びPOS1工法 (機械的固定工法) の既存保護層を剥がし防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (a) ①～③による
・ 設備機置架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸道の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

[3.2.6]

4

アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種類

[3.3.2～5]

工法

種別

施工箇所

断熱材

絶縁用シート

立上り部の保護

・ P2A

・ A-1
※ A-2
・ A-3

※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットマーンクロス70g/m2程度

・ 乾式保護材
・ コンクリート
・ スチール
※ JIS R 1250

・ P1B

※ B-1
※ B-2

・ P2A1

・ A1-1
※ A1-2
・ A1-3

(材料)
JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A (スチン層付)
(厚さ) (mm)
※25・50

※フラットマーンクロス70g/m2程度

・ P1B1

・ B1-1
※ B1-2

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ 用途による区分
材料構成による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

6

合成高分子ルーフィングシート防水

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ M4S

・ O-1
※ O-2
・ O-3
・ O-4

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M3D

・ D-1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ P0D

※ O-2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ P0D1

・ D1-1

JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類)
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種など
(厚さ) (mm)
※25・50

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M3D1

※ D1-2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4D1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製造木

防水層の種類

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ POS

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ POS1

・ S1-F1

改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類)
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
(厚さ) (mm)
※25・50

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製造木

防水層の種類

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ POS

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ POS1

・ S1-F1

改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類)
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
(厚さ) (mm)
※25・50

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製造木

防水層の種類

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ POS

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ POS1

・ S1-F1

改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類)
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
(厚さ) (mm)
※25・50

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製造木

防水層の種類

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ POS

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S

・ S-F1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S

・ S-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ POS1

・ S1-F1

改修標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類)
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
(厚さ) (mm)
※25・50

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S3S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ M4S1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-F2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M1

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

・ S1-M2

・ ※製造所の仕様

・ ※適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ※ R種厚さ (mm)以上
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
て仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石棉強化繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)

分類・規格	窯業系パネル1種	金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)	
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	—
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準値 350以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	了時 (試験サイクル数) 400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.01以下
耐燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍融試験性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル1種は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の隅部部に落としたとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量：1/100以下。
耐圧 (E×1)	—	80,000N・cm2以上

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体の幅中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の荷重荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融試験試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル1種は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予知変位荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 耐燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

7

塗膜防水

8

シーリング

9

とい

10

アルミニウム製造木

防水層の種類

工法

種別

施工箇所

<

4 外壁改修工事 共通事項	1	ポリマーセメントモルタル	<table><tr><th colspan="2">(品質・性能)</th><th colspan="2">[4.2.2]</th></tr><tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">品質・性能</th></tr><tr><td rowspan="2">だれ</td><td>下がり量 (mm)</td><td colspan="2">5以内</td></tr><tr><td>表面の状態</td><td colspan="2">ひび割れの発生が無いこと。</td></tr><tr><td colspan="2">曲げ強さ (N/mm2)</td><td colspan="2">6.0以上</td></tr><tr><td colspan="2">圧縮強さ (N/mm2)</td><td colspan="2">20.0以上</td></tr><tr><td rowspan="2">接着強さ (N/mm2)</td><td>標準条件</td><td colspan="2">1.0以上</td></tr><tr><td>特殊条件</td><td>湿潤時</td><td>0.8以上</td></tr><tr><td></td><td>低湿時</td><td colspan="2">0.5以上</td></tr><tr><td colspan="2">透水性</td><td colspan="2">表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。</td></tr><tr><td colspan="2">その他</td><td colspan="2">1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常湿に於いて製造後6か月保存しても、変質しないこと。</td></tr></table>	(品質・性能)		[4.2.2]		項目		品質・性能		だれ	下がり量 (mm)	5以内		表面の状態	ひび割れの発生が無いこと。		曲げ強さ (N/mm2)		6.0以上		圧縮強さ (N/mm2)		20.0以上		接着強さ (N/mm2)	標準条件	1.0以上		特殊条件	湿潤時	0.8以上		低湿時	0.5以上		透水性		表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。		その他		1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常湿に於いて製造後6か月保存しても、変質しないこと。		4 2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	1	ひび割れ部改修工法	<table><tr><th colspan="4">[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]</th></tr><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (mL/m²)</th></tr><tr><td rowspan="3">※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上0.3未満</td><td rowspan="3">200～300</td><td>※40</td></tr><tr><td>0.3以上0.5未満</td><td>※40</td></tr><tr><td>0.5以上1.0未満</td><td>※70</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上0.3未満</td><td>50～100</td><td>※40</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上0.5未満</td><td>100～200</td><td>※70</td></tr><tr><td></td><td>0.5以上1.0未満</td><td>150～250</td><td>※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う ・ コア採取の場合の回数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア採取の場合の採取り前の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ※ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]				工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m ²)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200～300	※40	0.3以上0.5未満	※40	0.5以上1.0未満	※70	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50～100	※40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100～200	※70		0.5以上1.0未満	150～250	※130	2	欠損部改修工法	<table><tr><th colspan="2">[4.1.4] [4.2.4、8]</th></tr><tr><td>※ 充填工法</td><td>・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	[4.1.4] [4.2.4、8]		※ 充填工法	・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	・		4 1 3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	1	ひび割れ部改修工法	<table><tr><th colspan="4">[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]</th></tr><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (mL/m²)</th></tr><tr><td rowspan="3">※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上0.3未満</td><td rowspan="3">200～300</td><td>※40</td></tr><tr><td>0.3以上0.5未満</td><td>※40</td></tr><tr><td>0.5以上1.0未満</td><td>※70</td></tr><tr><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上0.3未満</td><td>50～100</td><td>※40</td></tr><tr><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上0.5未満</td><td>100～200</td><td>※70</td></tr><tr><td></td><td>0.5以上1.0未満</td><td>150～250</td><td>※130</td></tr></table> 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う ・ コア採取の場合の回数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア採取の場合の採取り前の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ※ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による	[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]				工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m ²)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200～300	※40	0.3以上0.5未満	※40	0.5以上1.0未満	※70	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50～100	※40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100～200	※70		0.5以上1.0未満	150～250	※130	2	欠損部改修工法	<table><tr><th colspan="2">[4.1.4] [4.3.9、10]</th></tr><tr><td>※ 充填工法 (欠損部の深さが0.25m2/箇所程度以下の場合)</td><td>充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル</td></tr><tr><td>・ モルタル塗替え工法</td><td>モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状)</td></tr><tr><td colspan="2">仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</td></tr></table>	[4.1.4] [4.3.9、10]		※ 充填工法 (欠損部の深さが0.25m2/箇所程度以下の場合)	充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル	・ モルタル塗替え工法	モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状)	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示		3	浮き部改修工法	<table><tr><th colspan="2">[4.1.4] [4.3.11～16]</th></tr><tr><td>※ モルタルを撤去しないで改修</td><td>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td></tr><tr><td>アンカーピンの材質</td><td>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で金ネジ切り加工をしたもの</td></tr><tr><td>注入口付アンカーピンの材質</td><td>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm</td></tr><tr><td>・ モルタルを撤去して改修</td><td>モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</td></tr></table>	[4.1.4] [4.3.11～16]		※ モルタルを撤去しないで改修	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	アンカーピンの材質	※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で金ネジ切り加工をしたもの	注入口付アンカーピンの材質	※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm	・ モルタルを撤去して改修	モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示	4 1 4 外壁改修工事 (タイル張り仕上げ外壁)	1	タイルの形状、寸法等	<table><tr><th colspan="2">[4.4.5、8]</th></tr><tr><td>タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類</td><td>・ JIS A 5557による一液反応硬化形の聚変シリコン樹脂系</td></tr><tr><td>タイルの形状、寸法等</td><td></td></tr><tr><td>施工箇所 (mm)</td><td>形状・寸法 再生材料 浸水率による区分 かわくすり 役種 色 耐凍害性 耐滑 乾燥時 有 無 り性 備考</td></tr><tr><td></td><td>1 種 2 種 3 種 4 種 5 種 6 種 7 種 8 種 9 種 10 種 11 種 12 種 13 種 14 種 15 種 16 種 17 種 18 種 19 種 20 種 21 種 22 種 23 種 24 種 25 種 26 種 27 種 28 種 29 種 30 種 31 種 32 種 33 種 34 種 35 種 36 種 37 種 38 種 39 種 40 種 41 種 42 種 43 種 44 種 45 種 46 種 47 種 48 種 49 種 50 種 51 種 52 種 53 種 54 種 55 種 56 種 57 種 58 種 59 種 60 種 61 種 62 種 63 種 64 種 65 種 66 種 67 種 68 種 69 種 70 種 71 種 72 種 73 種 74 種 75 種 76 種 77 種 78 種 79 種 80 種 81 種 82 種 83 種 84 種 85 種 86 種 87 種 88 種 89 種 90 種 91 種 92 種 93 種 94 種 95 種 96 種 97 種 98 種 99 種 100 種 101 種 102 種 103 種 104 種 105 種 106 種 107 種 108 種 109 種 110 種 111 種 112 種 113 種 114 種 115 種 116 種 117 種 118 種 119 種 120 種 121 種 122 種 123 種 124 種 125 種 126 種 127 種 128 種 129 種 130 種 131 種 132 種 133 種 134 種 135 種 136 種 137 種 138 種 139 種 140 種 141 種 142 種 143 種 144 種 145 種 146 種 147 種 148 種 149 種 150 種 151 種 152 種 153 種 154 種 155 種 156 種 157 種 158 種 159 種 160 種 161 種 162 種 163 種 164 種 165 種 166 種 167 種 168 種 169 種 170 種 171 種 172 種 173 種 174 種 175 種 176 種 177 種 178 種 179 種 180 種 181 種 182 種 183 種 184 種 185 種 186 種 187 種 188 種 189 種 190 種 191 種 192 種 193 種 194 種 195 種 196 種 197 種 198 種 199 種 200 種 201 種 202 種 203 種 204 種 205 種 206 種 207 種 208 種 209 種 210 種 211 種 212 種 213 種 214 種 215 種 216 種 217 種 218 種 219 種 220 種 221 種 222 種 223 種 224 種 225 種 226 種 227 種 228 種 229 種 230 種 231 種 232 種 233 種 234 種 235 種 236 種 237 種 238 種 239 種 240 種 241 種 242 種 243 種 244 種 245 種 246 種 247 種 248 種 249 種 250 種 251 種 252 種 253 種 254 種 255 種 256 種 257 種 258 種 259 種 260 種 261 種 262 種 263 種 264 種 265 種 266 種 267 種 268 種 269 種 270 種 271 種 272 種 273 種 274 種 275 種 276 種 277 種 278 種 279 種 280 種 281 種 282 種 283 種 284 種 285 種 286 種 287 種 288 種 289 種 290 種 291 種 292 種 293 種 294 種 295 種 296 種 297 種 298 種 299 種 300 種 301 種 302 種 303 種 304 種 305 種 306 種 307 種 308 種 309 種 310 種 311 種 312 種 313 種 314 種 315 種 316 種 317 種 318 種 319 種 320 種 321 種 322 種 323 種 324 種 325 種 326 種 327 種 328 種 329 種 330 種 331 種 332 種 333 種 334 種 335 種 336 種 337 種 338 種 339 種 340 種 341 種 342 種 343 種 344 種 345 種 346 種 347 種 348 種 349 種 350 種 351 種 352 種 353 種 354 種 355 種 356 種 357 種 358 種 359 種 360 種 361 種 362 種 363 種 364 種 365 種 366 種 367 種 368 種 369 種 370 種 371 種 372 種 373 種 374 種 375 種 376 種 377 種 378 種 379 種 380 種 381 種 382 種 383 種 384 種 385 種 386 種 387 種 388 種 389 種 390 種 391 種 392 種 393 種 394 種 395 種 396 種 397 種 398 種 399 種 400 種 401 種 402 種 403 種 404 種 405 種 406 種 407 種 408 種 409 種 410 種 411 種 412 種 413 種 414 種 415 種 416 種 417 種 418 種 419 種 420 種 421 種 422 種 423 種 424 種 425 種 426 種 427 種 428 種 429 種 430 種 431 種 432 種 433 種 434 種 435 種 436 種 437 種 438 種 439 種 440 種 441 種 442 種 443 種 444 種 445 種 446 種 447 種 448 種 449 種 450 種 451 種 452 種 453 種 454 種 455 種 456 種 457 種 458 種 459 種 460 種 461 種 462 種 463 種 464 種 465 種 466 種 467 種 468 種 469 種 470 種 471 種 472 種 473 種 474 種 475 種 476 種 477 種 478 種 479 種 480 種 481 種 482 種 483 種 484 種 485 種 486 種 487 種 488 種 489 種 490 種 491 種 492 種 493 種 494 種 495 種 496 種 497 種 498 種 499 種 500 種 501 種 502 種 503 種 504 種 505 種 506 種 507 種 508 種 509 種 510 種 511 種 512 種 513 種 514 種 515 種 516 種 517 種 518 種 519 種 520 種 521 種 522 種 523 種 524 種 525 種 526 種 527 種 528 種 529 種 530 種 531 種 532 種 533 種 534 種 535 種 536 種 537 種 538 種 539 種 540 種 541 種 542 種 543 種 544 種 545 種 546 種 547 種 548 種 549 種 550 種 551 種 552 種 553 種 554 種 555 種 556 種 557 種 558 種 559 種 560 種 561 種 562 種 563 種 564 種 565 種 566 種 567 種 568 種 569 種 570 種 571 種 572 種 573 種 574 種 575 種 576 種 577 種 578 種 579 種 580 種 581 種 582 種 583 種 584 種 585 種 586 種 587 種 588 種 589 種 590 種 591 種 592 種 593 種 594 種 595 種 596 種 597 種 598 種 599 種 600 種 601 種 602 種 603 種 604 種 605 種 606 種 607 種 608 種 609 種 610 種 611 種 612 種 613 種 614 種 615 種 616 種 617 種 618 種 619 種 620 種 621 種 622 種 623 種 624 種 625 種 626 種 627 種 628 種 629 種 630 種 631 種 632 種 633 種 634 種 635 種 636 種 637 種 638 種 639 種 640 種 641 種 642 種 643 種 644 種 645 種 646 種 647 種 648 種 649 種 650 種 651 種 652 種 653 種 654 種 655 種 656 種 657 種 658 種 659 種 660 種 661 種 662 種 663 種 664 種 665 種 666 種 667 種 668 種 669 種 670 種 671 種 672 種 673 種 674 種 675 種 676 種 677 種 678 種 679 種 680 種 681 種 682 種 683 種 684 種 685 種 686 種 687 種 688 種 689 種 690 種 691 種 692 種 693 種 694 種 695 種 696 種 697 種 698 種 699 種 700 種 701 種 702 種 703 種 704 種 705 種 706 種 707 種 708 種 709 種 710 種 711 種 712 種 713 種 714 種 715 種 716 種 717 種 718 種 719 種 720 種 721 種 722 種 723 種 724 種 725 種 726 種 727 種 728 種 729 種 730 種 731 種 732 種 733 種 734 種 735 種 736 種 737 種 738 種 739 種 740 種 741 種 742 種 743 種 744 種 745 種 746 種 747 種 748 種 749 種 750 種 751 種 752 種 753 種 754 種 755 種 756 種 757 種 758 種 759 種 760 種 761 種 762 種 763 種 764 種 765 種 766 種 767 種 768 種 769 種 770 種 771 種 772 種 773 種 774 種 775 種 776 種 777 種 778 種 779 種 780 種 781 種 782 種 783 種 784 種 785 種 786 種 787 種 788 種 789 種 790 種 791 種 792 種 793 種 794 種 795 種 796 種 797 種 798 種 799 種 800 種 801 種 802 種 803 種 804 種 805 種 806 種 807 種 808 種 809 種 810 種 811 種 812 種 813 種 814 種 815 種 816 種 817 種 818 種 819 種 820 種 821 種 822 種 823 種 824 種 825 種 826 種 827 種 828 種 829 種 830 種 831 種 832 種 833 種 834 種 835 種 836 種 837 種 838 種 839 種 840 種 841 種 842 種 843 種 844 種 845 種 846 種 847 種 848 種 849 種 850 種 851 種 852 種 853 種 854 種 855 種 856 種 857 種 858 種 859 種 860 種 861 種 862 種 863 種 864 種 865 種 866 種 867 種 868 種 869 種 870 種 871 種 872 種 873 種 874 種 875 種 876 種 877 種 878 種 879 種 880 種 881 種 882 種 883 種 884 種 885 種 886 種 887 種 888 種 889 種 890 種 891 種 892 </td></tr></table>	[4.4.5、8]		タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類	・ JIS A 5557による一液反応硬化形の聚変シリコン樹脂系	タイルの形状、寸法等		施工箇所 (mm)	形状・寸法 再生材料 浸水率による区分 かわくすり 役種 色 耐凍害性 耐滑 乾燥時 有 無 り性 備考		1 種 2 種 3 種 4 種 5 種 6 種 7 種 8 種 9 種 10 種 11 種 12 種 13 種 14 種 15 種 16 種 17 種 18 種 19 種 20 種 21 種 22 種 23 種 24 種 25 種 26 種 27 種 28 種 29 種 30 種 31 種 32 種 33 種 34 種 35 種 36 種 37 種 38 種 39 種 40 種 41 種 42 種 43 種 44 種 45 種 46 種 47 種 48 種 49 種 50 種 51 種 52 種 53 種 54 種 55 種 56 種 57 種 58 種 59 種 60 種 61 種 62 種 63 種 64 種 65 種 66 種 67 種 68 種 69 種 70 種 71 種 72 種 73 種 74 種 75 種 76 種 77 種 78 種 79 種 80 種 81 種 82 種 83 種 84 種 85 種 86 種 87 種 88 種 89 種 90 種 91 種 92 種 93 種 94 種 95 種 96 種 97 種 98 種 99 種 100 種 101 種 102 種 103 種 104 種 105 種 106 種 107 種 108 種 109 種 110 種 111 種 112 種 113 種 114 種 115 種 116 種 117 種 118 種 119 種 120 種 121 種 122 種 123 種 124 種 125 種 126 種 127 種 128 種 129 種 130 種 131 種 132 種 133 種 134 種 135 種 136 種 137 種 138 種 139 種 140 種 141 種 142 種 143 種 144 種 145 種 146 種 147 種 148 種 149 種 150 種 151 種 152 種 153 種 154 種 155 種 156 種 157 種 158 種 159 種 160 種 161 種 162 種 163 種 164 種 165 種 166 種 167 種 168 種 169 種 170 種 171 種 172 種 173 種 174 種 175 種 176 種 177 種 178 種 179 種 180 種 181 種 182 種 183 種 184 種 185 種 186 種 187 種 188 種 189 種 190 種 191 種 192 種 193 種 194 種 195 種 196 種 197 種 198 種 199 種 200 種 201 種 202 種 203 種 204 種 205 種 206 種 207 種 208 種 209 種 210 種 211 種 212 種 213 種 214 種 215 種 216 種 217 種 218 種 219 種 220 種 221 種 222 種 223 種 224 種 225 種 226 種 227 種 228 種 229 種 230 種 231 種 232 種 233 種 234 種 235 種 236 種 237 種 238 種 239 種 240 種 241 種 242 種 243 種 244 種 245 種 246 種 247 種 248 種 249 種 250 種 251 種 252 種 253 種 254 種 255 種 256 種 257 種 258 種 259 種 260 種 261 種 262 種 263 種 264 種 265 種 266 種 267 種 268 種 269 種 270 種 271 種 272 種 273 種 274 種 275 種 276 種 277 種 278 種 279 種 280 種 281 種 282 種 283 種 284 種 285 種 286 種 287 種 288 種 289 種 290 種 291 種 292 種 293 種 294 種 295 種 296 種 297 種 298 種 299 種 300 種 301 種 302 種 303 種 304 種 305 種 306 種 307 種 308 種 309 種 310 種 311 種 312 種 313 種 314 種 315 種 316 種 317 種 318 種 319 種 320 種 321 種 322 種 323 種 324 種 325 種 326 種 327 種 328 種 329 種 330 種 331 種 332 種 333 種 334 種 335 種 336 種 337 種 338 種 339 種 340 種 341 種 342 種 343 種 344 種 345 種 346 種 347 種 348 種 349 種 350 種 351 種 352 種 353 種 354 種 355 種 356 種 357 種 358 種 359 種 360 種 361 種 362 種 363 種 364 種 365 種 366 種 367 種 368 種 369 種 370 種 371 種 372 種 373 種 374 種 375 種 376 種 377 種 378 種 379 種 380 種 381 種 382 種 383 種 384 種 385 種 386 種 387 種 388 種 389 種 390 種 391 種 392 種 393 種 394 種 395 種 396 種 397 種 398 種 399 種 400 種 401 種 402 種 403 種 404 種 405 種 406 種 407 種 408 種 409 種 410 種 411 種 412 種 413 種 414 種 415 種 416 種 417 種 418 種 419 種 420 種 421 種 422 種 423 種 424 種 425 種 426 種 427 種 428 種 429 種 430 種 431 種 432 種 433 種 434 種 435 種 436 種 437 種 438 種 439 種 440 種 441 種 442 種 443 種 444 種 445 種 446 種 447 種 448 種 449 種 450 種 451 種 452 種 453 種 454 種 455 種 456 種 457 種 458 種 459 種 460 種 461 種 462 種 463 種 464 種 465 種 466 種 467 種 468 種 469 種 470 種 471 種 472 種 473 種 474 種 475 種 476 種 477 種 478 種 479 種 480 種 481 種 482 種 483 種 484 種 485 種 486 種 487 種 488 種 489 種 490 種 491 種 492 種 493 種 494 種 495 種 496 種 497 種 498 種 499 種 500 種 501 種 502 種 503 種 504 種 505 種 506 種 507 種 508 種 509 種 510 種 511 種 512 種 513 種 514 種 515 種 516 種 517 種 518 種 519 種 520 種 521 種 522 種 523 種 524 種 525 種 526 種 527 種 528 種 529 種 530 種 531 種 532 種 533 種 534 種 535 種 536 種 537 種 538 種 539 種 540 種 541 種 542 種 543 種 544 種 545 種 546 種 547 種 548 種 549 種 550 種 551 種 552 種 553 種 554 種 555 種 556 種 557 種 558 種 559 種 560 種 561 種 562 種 563 種 564 種 565 種 566 種 567 種 568 種 569 種 570 種 571 種 572 種 573 種 574 種 575 種 576 種 577 種 578 種 579 種 580 種 581 種 582 種 583 種 584 種 585 種 586 種 587 種 588 種 589 種 590 種 591 種 592 種 593 種 594 種 595 種 596 種 597 種 598 種 599 種 600 種 601 種 602 種 603 種 604 種 605 種 606 種 607 種 608 種 609 種 610 種 611 種 612 種 613 種 614 種 615 種 616 種 617 種 618 種 619 種 620 種 621 種 622 種 623 種 624 種 625 種 626 種 627 種 628 種 629 種 630 種 631 種 632 種 633 種 634 種 635 種 636 種 637 種 638 種 639 種 640 種 641 種 642 種 643 種 644 種 645 種 646 種 647 種 648 種 649 種 650 種 651 種 652 種 653 種 654 種 655 種 656 種 657 種 658 種 659 種 660 種 661 種 662 種 663 種 664 種 665 種 666 種 667 種 668 種 669 種 670 種 671 種 672 種 673 種 674 種 675 種 676 種 677 種 678 種 679 種 680 種 681 種 682 種 683 種 684 種 685 種 686 種 687 種 688 種 689 種 690 種 691 種 692 種 693 種 694 種 695 種 696 種 697 種 698 種 699 種 700 種 701 種 702 種 703 種 704 種 705 種 706 種 707 種 708 種 709 種 710 種 711 種 712 種 713 種 714 種 715 種 716 種 717 種 718 種 719 種 720 種 721 種 722 種 723 種 724 種 725 種 726 種 727 種 728 種 729 種 730 種 731 種 732 種 733 種 734 種 735 種 736 種 737 種 738 種 739 種 740 種 741 種 742 種 743 種 744 種 745 種 746 種 747 種 748 種 749 種 750 種 751 種 752 種 753 種 754 種 755 種 756 種 757 種 758 種 759 種 760 種 761 種 762 種 763 種 764 種 765 種 766 種 767 種 768 種 769 種 770 種 771 種 772 種 773 種 774 種 775 種 776 種 777 種 778 種 779 種 780 種 781 種 782 種 783 種 784 種 785 種 786 種 787 種 788 種 789 種 790 種 791 種 792 種 793 種 794 種 795 種 796 種 797 種 798 種 799 種 800 種 801 種 802 種 803 種 804 種 805 種 806 種 807 種 808 種 809 種 810 種 811 種 812 種 813 種 814 種 815 種 816 種 817 種 818 種 819 種 820 種 821 種 822 種 823 種 824 種 825 種 826 種 827 種 828 種 829 種 830 種 831 種 832 種 833 種 834 種 835 種 836 種 837 種 838 種 839 種 840 種 841 種 842 種 843 種 844 種 845 種 846 種 847 種 848 種 849 種 850 種 851 種 852 種 853 種 854 種 855 種 856 種 857 種 858 種 859 種 860 種 861 種 862 種 863 種 864 種 865 種 866 種 867 種 868 種 869 種 870 種 871 種 872 種 873 種 874 種 875 種 876 種 877 種 878 種 879 種 880 種 881 種 882 種 883 種 884 種 885 種 886 種 887 種 888 種 889 種 890 種 891 種 892
	(品質・性能)		[4.2.2]																																																																																																																																																									
	項目		品質・性能																																																																																																																																																									
	だれ	下がり量 (mm)	5以内																																																																																																																																																									
表面の状態		ひび割れの発生が無いこと。																																																																																																																																																										
曲げ強さ (N/mm2)		6.0以上																																																																																																																																																										
圧縮強さ (N/mm2)		20.0以上																																																																																																																																																										
接着強さ (N/mm2)	標準条件	1.0以上																																																																																																																																																										
	特殊条件	湿潤時	0.8以上																																																																																																																																																									
	低湿時	0.5以上																																																																																																																																																										
透水性		表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。																																																																																																																																																										
その他		1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常湿に於いて製造後6か月保存しても、変質しないこと。																																																																																																																																																										
[4.1.4] [4.2.4、5、6、7]																																																																																																																																																												
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m ²)																																																																																																																																																									
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200～300	※40																																																																																																																																																									
	0.3以上0.5未満		※40																																																																																																																																																									
	0.5以上1.0未満		※70																																																																																																																																																									
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50～100	※40																																																																																																																																																									
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100～200	※70																																																																																																																																																									
	0.5以上1.0未満	150～250	※130																																																																																																																																																									
[4.1.4] [4.2.4、8]																																																																																																																																																												
※ 充填工法	・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																												
[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]																																																																																																																																																												
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m ²)																																																																																																																																																									
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200～300	※40																																																																																																																																																									
	0.3以上0.5未満		※40																																																																																																																																																									
	0.5以上1.0未満		※70																																																																																																																																																									
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50～100	※40																																																																																																																																																									
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100～200	※70																																																																																																																																																									
	0.5以上1.0未満	150～250	※130																																																																																																																																																									
[4.1.4] [4.3.9、10]																																																																																																																																																												
※ 充填工法 (欠損部の深さが0.25m2/箇所程度以下の場合)	充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																											
・ モルタル塗替え工法	モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状)																																																																																																																																																											
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示																																																																																																																																																												
[4.1.4] [4.3.11～16]																																																																																																																																																												
※ モルタルを撤去しないで改修	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法																																																																																																																																																											
アンカーピンの材質	※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で金ネジ切り加工をしたもの																																																																																																																																																											
注入口付アンカーピンの材質	※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm																																																																																																																																																											
・ モルタルを撤去して改修	モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示																																																																																																																																																											
[4.4.5、8]																																																																																																																																																												
タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類	・ JIS A 5557による一液反応硬化形の聚変シリコン樹脂系																																																																																																																																																											
タイルの形状、寸法等																																																																																																																																																												
施工箇所 (mm)	形状・寸法 再生材料 浸水率による区分 かわくすり 役種 色 耐凍害性 耐滑 乾燥時 有 無 り性 備考																																																																																																																																																											
	1 種 2 種 3 種 4 種 5 種 6 種 7 種 8 種 9 種 10 種 11 種 12 種 13 種 14 種 15 種 16 種 17 種 18 種 19 種 20 種 21 種 22 種 23 種 24 種 25 種 26 種 27 種 28 種 29 種 30 種 31 種 32 種 33 種 34 種 35 種 36 種 37 種 38 種 39 種 40 種 41 種 42 種 43 種 44 種 45 種 46 種 47 種 48 種 49 種 50 種 51 種 52 種 53 種 54 種 55 種 56 種 57 種 58 種 59 種 60 種 61 種 62 種 63 種 64 種 65 種 66 種 67 種 68 種 69 種 70 種 71 種 72 種 73 種 74 種 75 種 76 種 77 種 78 種 79 種 80 種 81 種 82 種 83 種 84 種 85 種 86 種 87 種 88 種 89 種 90 種 91 種 92 種 93 種 94 種 95 種 96 種 97 種 98 種 99 種 100 種 101 種 102 種 103 種 104 種 105 種 106 種 107 種 108 種 109 種 110 種 111 種 112 種 113 種 114 種 115 種 116 種 117 種 118 種 119 種 120 種 121 種 122 種 123 種 124 種 125 種 126 種 127 種 128 種 129 種 130 種 131 種 132 種 133 種 134 種 135 種 136 種 137 種 138 種 139 種 140 種 141 種 142 種 143 種 144 種 145 種 146 種 147 種 148 種 149 種 150 種 151 種 152 種 153 種 154 種 155 種 156 種 157 種 158 種 159 種 160 種 161 種 162 種 163 種 164 種 165 種 166 種 167 種 168 種 169 種 170 種 171 種 172 種 173 種 174 種 175 種 176 種 177 種 178 種 179 種 180 種 181 種 182 種 183 種 184 種 185 種 186 種 187 種 188 種 189 種 190 種 191 種 192 種 193 種 194 種 195 種 196 種 197 種 198 種 199 種 200 種 201 種 202 種 203 種 204 種 205 種 206 種 207 種 208 種 209 種 210 種 211 種 212 種 213 種 214 種 215 種 216 種 217 種 218 種 219 種 220 種 221 種 222 種 223 種 224 種 225 種 226 種 227 種 228 種 229 種 230 種 231 種 232 種 233 種 234 種 235 種 236 種 237 種 238 種 239 種 240 種 241 種 242 種 243 種 244 種 245 種 246 種 247 種 248 種 249 種 250 種 251 種 252 種 253 種 254 種 255 種 256 種 257 種 258 種 259 種 260 種 261 種 262 種 263 種 264 種 265 種 266 種 267 種 268 種 269 種 270 種 271 種 272 種 273 種 274 種 275 種 276 種 277 種 278 種 279 種 280 種 281 種 282 種 283 種 284 種 285 種 286 種 287 種 288 種 289 種 290 種 291 種 292 種 293 種 294 種 295 種 296 種 297 種 298 種 299 種 300 種 301 種 302 種 303 種 304 種 305 種 306 種 307 種 308 種 309 種 310 種 311 種 312 種 313 種 314 種 315 種 316 種 317 種 318 種 319 種 320 種 321 種 322 種 323 種 324 種 325 種 326 種 327 種 328 種 329 種 330 種 331 種 332 種 333 種 334 種 335 種 336 種 337 種 338 種 339 種 340 種 341 種 342 種 343 種 344 種 345 種 346 種 347 種 348 種 349 種 350 種 351 種 352 種 353 種 354 種 355 種 356 種 357 種 358 種 359 種 360 種 361 種 362 種 363 種 364 種 365 種 366 種 367 種 368 種 369 種 370 種 371 種 372 種 373 種 374 種 375 種 376 種 377 種 378 種 379 種 380 種 381 種 382 種 383 種 384 種 385 種 386 種 387 種 388 種 389 種 390 種 391 種 392 種 393 種 394 種 395 種 396 種 397 種 398 種 399 種 400 種 401 種 402 種 403 種 404 種 405 種 406 種 407 種 408 種 409 種 410 種 411 種 412 種 413 種 414 種 415 種 416 種 417 種 418 種 419 種 420 種 421 種 422 種 423 種 424 種 425 種 426 種 427 種 428 種 429 種 430 種 431 種 432 種 433 種 434 種 435 種 436 種 437 種 438 種 439 種 440 種 441 種 442 種 443 種 444 種 445 種 446 種 447 種 448 種 449 種 450 種 451 種 452 種 453 種 454 種 455 種 456 種 457 種 458 種 459 種 460 種 461 種 462 種 463 種 464 種 465 種 466 種 467 種 468 種 469 種 470 種 471 種 472 種 473 種 474 種 475 種 476 種 477 種 478 種 479 種 480 種 481 種 482 種 483 種 484 種 485 種 486 種 487 種 488 種 489 種 490 種 491 種 492 種 493 種 494 種 495 種 496 種 497 種 498 種 499 種 500 種 501 種 502 種 503 種 504 種 505 種 506 種 507 種 508 種 509 種 510 種 511 種 512 種 513 種 514 種 515 種 516 種 517 種 518 種 519 種 520 種 521 種 522 種 523 種 524 種 525 種 526 種 527 種 528 種 529 種 530 種 531 種 532 種 533 種 534 種 535 種 536 種 537 種 538 種 539 種 540 種 541 種 542 種 543 種 544 種 545 種 546 種 547 種 548 種 549 種 550 種 551 種 552 種 553 種 554 種 555 種 556 種 557 種 558 種 559 種 560 種 561 種 562 種 563 種 564 種 565 種 566 種 567 種 568 種 569 種 570 種 571 種 572 種 573 種 574 種 575 種 576 種 577 種 578 種 579 種 580 種 581 種 582 種 583 種 584 種 585 種 586 種 587 種 588 種 589 種 590 種 591 種 592 種 593 種 594 種 595 種 596 種 597 種 598 種 599 種 600 種 601 種 602 種 603 種 604 種 605 種 606 種 607 種 608 種 609 種 610 種 611 種 612 種 613 種 614 種 615 種 616 種 617 種 618 種 619 種 620 種 621 種 622 種 623 種 624 種 625 種 626 種 627 種 628 種 629 種 630 種 631 種 632 種 633 種 634 種 635 種 636 種 637 種 638 種 639 種 640 種 641 種 642 種 643 種 644 種 645 種 646 種 647 種 648 種 649 種 650 種 651 種 652 種 653 種 654 種 655 種 656 種 657 種 658 種 659 種 660 種 661 種 662 種 663 種 664 種 665 種 666 種 667 種 668 種 669 種 670 種 671 種 672 種 673 種 674 種 675 種 676 種 677 種 678 種 679 種 680 種 681 種 682 種 683 種 684 種 685 種 686 種 687 種 688 種 689 種 690 種 691 種 692 種 693 種 694 種 695 種 696 種 697 種 698 種 699 種 700 種 701 種 702 種 703 種 704 種 705 種 706 種 707 種 708 種 709 種 710 種 711 種 712 種 713 種 714 種 715 種 716 種 717 種 718 種 719 種 720 種 721 種 722 種 723 種 724 種 725 種 726 種 727 種 728 種 729 種 730 種 731 種 732 種 733 種 734 種 735 種 736 種 737 種 738 種 739 種 740 種 741 種 742 種 743 種 744 種 745 種 746 種 747 種 748 種 749 種 750 種 751 種 752 種 753 種 754 種 755 種 756 種 757 種 758 種 759 種 760 種 761 種 762 種 763 種 764 種 765 種 766 種 767 種 768 種 769 種 770 種 771 種 772 種 773 種 774 種 775 種 776 種 777 種 778 種 779 種 780 種 781 種 782 種 783 種 784 種 785 種 786 種 787 種 788 種 789 種 790 種 791 種 792 種 793 種 794 種 795 種 796 種 797 種 798 種 799 種 800 種 801 種 802 種 803 種 804 種 805 種 806 種 807 種 808 種 809 種 810 種 811 種 812 種 813 種 814 種 815 種 816 種 817 種 818 種 819 種 820 種 821 種 822 種 823 種 824 種 825 種 826 種 827 種 828 種 829 種 830 種 831 種 832 種 833 種 834 種 835 種 836 種 837 種 838 種 839 種 840 種 841 種 842 種 843 種 844 種 845 種 846 種 847 種 848 種 849 種 850 種 851 種 852 種 853 種 854 種 855 種 856 種 857 種 858 種 859 種 860 種 861 種 862 種 863 種 864 種 865 種 866 種 867 種 868 種 869 種 870 種 871 種 872 種 873 種 874 種 875 種 876 種 877 種 878 種 879 種 880 種 881 種 882 種 883 種 884 種 885 種 886 種 887 種 888 種 889 種 890 種 891 種 892																																																																																																																																																											

1

改修工法

2

防火戸

3

見本の製作等

4

防犯建物部品

5

アルミニウム製建具

6

網戸等

7

樹脂製建具

8

鋼製建具

9

鋼製軽建具

10

ステンレス製建具

11

建具用金物

クロージャー類
(品質・性能)

区分		① ドアクロージャー		② ヒンジクロージャー		③ フロアヒンジ		
性能試験項目	Grade2	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
		1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
		2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
		3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
		4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
		5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
		6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
		閉じ速度 (秒)						常温 (5～35℃) 無風状態において、開閉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を5～6秒に調整できることとする。
		温度依存性 (℃)						緑青油の流動性は、JIS K 2269 (原油及び石油製品の流動粘度並びに石油製品を5℃点試験方法) により測定し、－15℃以下であること。

バ ッ ク チ ェ ッ ク 性 能	ストップ入力	90N・m以下 但し、コンシールド型は 200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下
	ストップ解除力	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上

バ ッ ク チ ェ ッ ク 性 能	バックチェック性能 (秒)	ドア開閉方向に荷重90N/m2を開閉50° から負荷する。バックチェック開始角度 (70～85°) から更に20° まで開く際の時間は0.8秒以上としていること。	—	—
	ディレードアクショ ン性能 (秒)	開閉90° の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能なこと。	—	—

戸の開閉位置 (中心吊り込み両 自由のみに適用)	—	—	±3mm以内	
--------------------------------	---	---	--------	--

密 閉 性	繰返し開閉後の閉じモーメント (N・m)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の効 率 (%)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の閉じ速度 (秒)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—
	繰返し開閉後のバックチェック性能 (秒)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—
	繰返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	—

引 き 戸 用 耐 用 設 置	繰り直し開閉回数	Grade2	20万回	10万回	30万回
--------------------------------------	----------	--------	------	------	------

注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。
注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。
(試験方法)
1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法―第3部：フロアヒンジ、ドアクロージャー及びヒンジクロージャー) に規定する試験方法による。
2) 試験ドアの質量は、1番手は25 kg、2番手は40 kg、3番手は60 kg、4番手は80 kg、5番手は100 kg、6番手は120 kgとする。

マスターキー ○ 製作する (組) ・ 製作しない ○ 既存に相込む
鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き)
鍵類 ・ 設ける (個用 組) ○ 設けない

引き戸用耐閉装置
性能
※ 改修標準仕様書表5.9.1による
種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2

車椅子使用者用便所入り引き戸用耐閉装置
性能
※ 改修標準仕様書表5.9.2による
引き戸用外出装置の種類及び必要性後項目

引き戸用外出装置
性能
※ 改修標準仕様書表5.9.3による
種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
・ 大型 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ

戸の開閉方式 ※ 建具表による
防鎖 ・ 適用する ・ 適用しない
凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による [5.10.9]
(試験方法)
(1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制動装置のみにより戸を開閉位置から開閉位置までの作動を確認できる試験を行う。両試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制動装置は10万回以上の開閉で1回のみ調査を行えるものとし、また、その他の制動装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。
(2) 耐衝撃性試験
落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。
耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。
(3) 気密性能試験
JIS A 1516 「建具の気密性能試験方法」による。

15

重量シャッター

16

軽量シャッター

17

オーバーヘッドドア

18

木製建具

シャッターの種類

- 管理用シャッター
- 外壁用防火シャッター
- 屋内用防火シャッター
- 防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
安全装置
急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示 ・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示 ・
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ※ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯)
めっきの付着量 ※ Z12又はT12を満足するもの ・
ガイドレール、まぐさ、両端りに用いる蓋板及び蓋板のカバー、両端りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・

開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式 (手動併用)
耐風圧強度 () N/m2
安全装置
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示 ・
スラットの材質の種類
※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ Z06 又はF06を満足するもの ・)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ AZ90を満足するもの ・)
スラットの形状 ※ インターロック形状 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない
ガイドレール (中柱共) の材質 ※ ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm ・
蓋板の材質 (裏板の場合) ※ ステンレス製鋼板 ・

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料
※ スタールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーガラスタイプ	・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スタージェード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示 ・

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A 種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接合剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
フラッシュ
表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標準仕様書表16.7.2 (2) (i) (a) による
表面材の全板の品質等

合板の種類	建板等	備考
・ 普通合板	表板の板種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度 ・) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度 ・) 板面の品質 (※ 広葉樹1等 ・) 接合剤の程度 (・ 1種 ・ 2種)	
・ 天然木化粧合板	樹種名 () 接合剤の程度 (・ 1種 ・ 2種)	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接合剤の程度 (・ 1種 ・ 2種)	

・ ミディアムデンシティ
ファイバーボード
(MDP F)
表裏面の状態による区分 ()
曲げ強さによる区分 ()
接合剤による区分 ()
靱性による区分 ()

表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.7.6による ・
引戸の召合せかまのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない
・ かま戸
かま戸の種類 () 鋼板樹脂 ()
見込み寸法 ※ 建具表による ・
・ ふすま
張りの種別 (・ I 型 ・ II 型)
上張り (押入等の裏面以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
張仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクイヤー塗装)
見込み寸法 ※ 建具表による ・
・ 戸ふすま 見込み寸法 ※ 建具表による ・
・ 縦張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による ・
枠の材料 ※ 木製枠 (6車内装改修工事による)
・ 鋼製枠 (※亜鉛めっき鋼板 ・ ピニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板)
くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製

令和6年度竹原浄化センター耐水化実施設計業務

工 事 名

竹原浄化センター耐水化工事

工事場所

広島県竹原市下野町吉吉良崎

図面番号

T-4

縮尺

A1:
A3:

図面名:

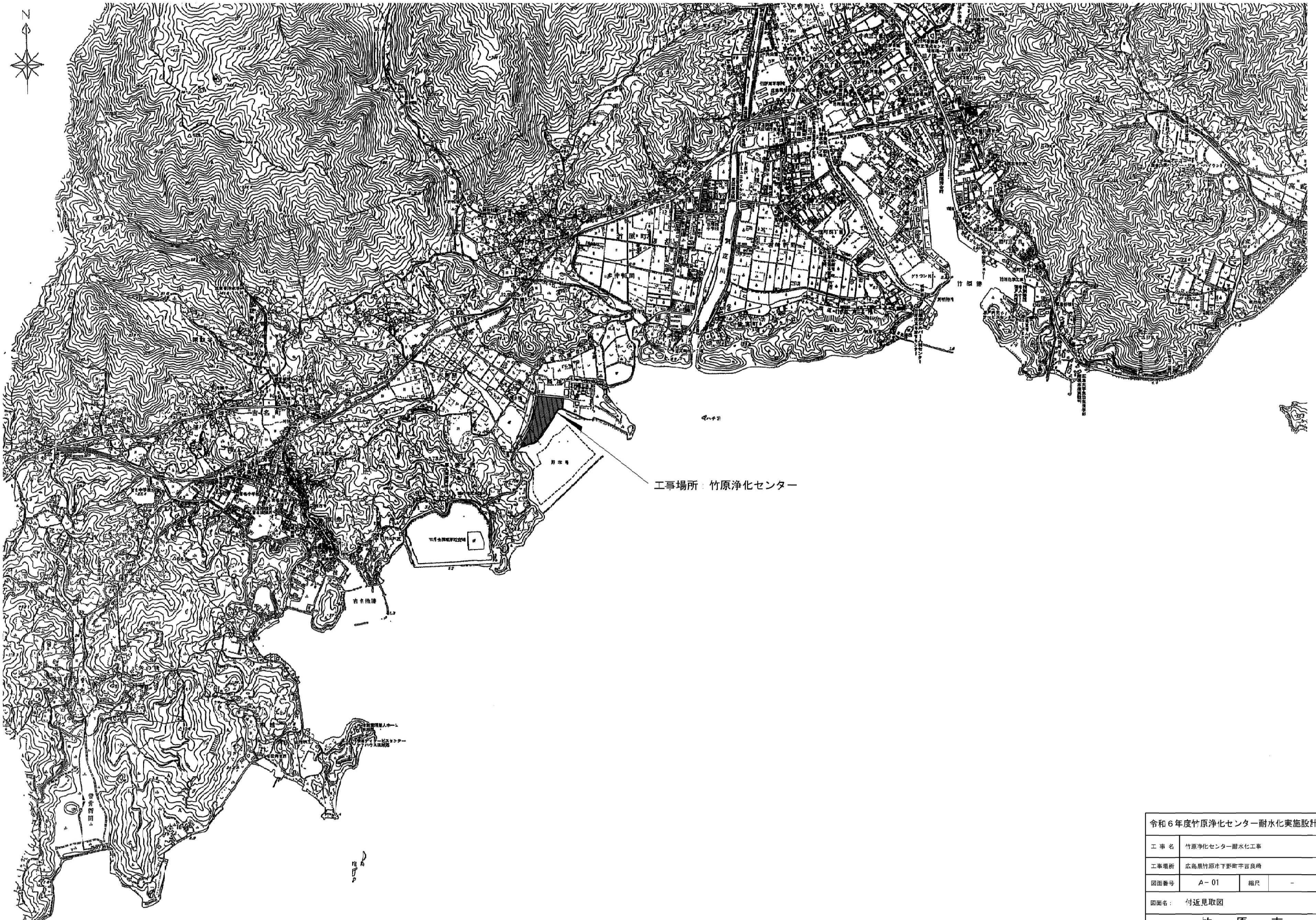
建築改修工事特記仕様書 (4)

竹 原 市

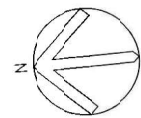
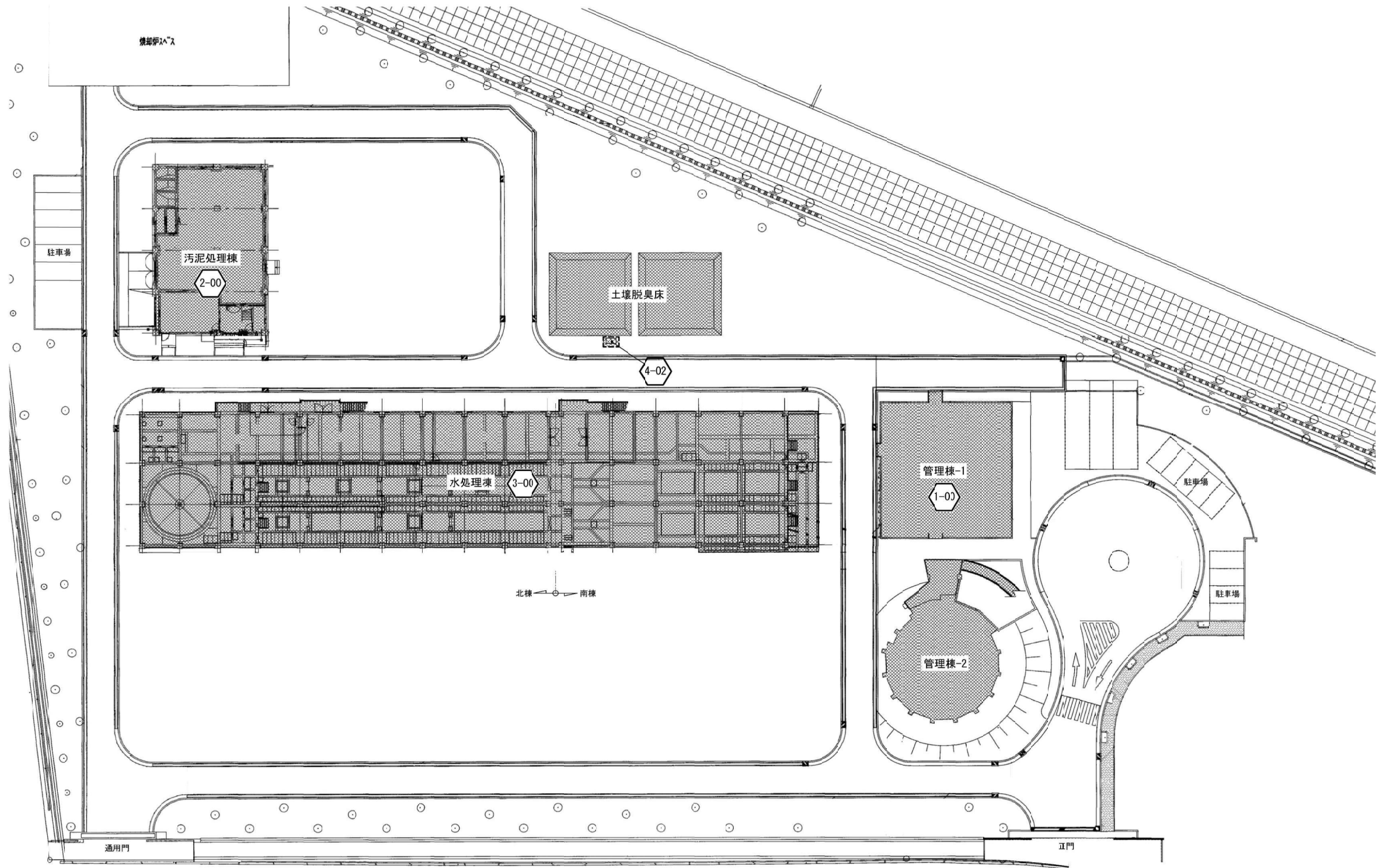
[illegible]

[illegible]

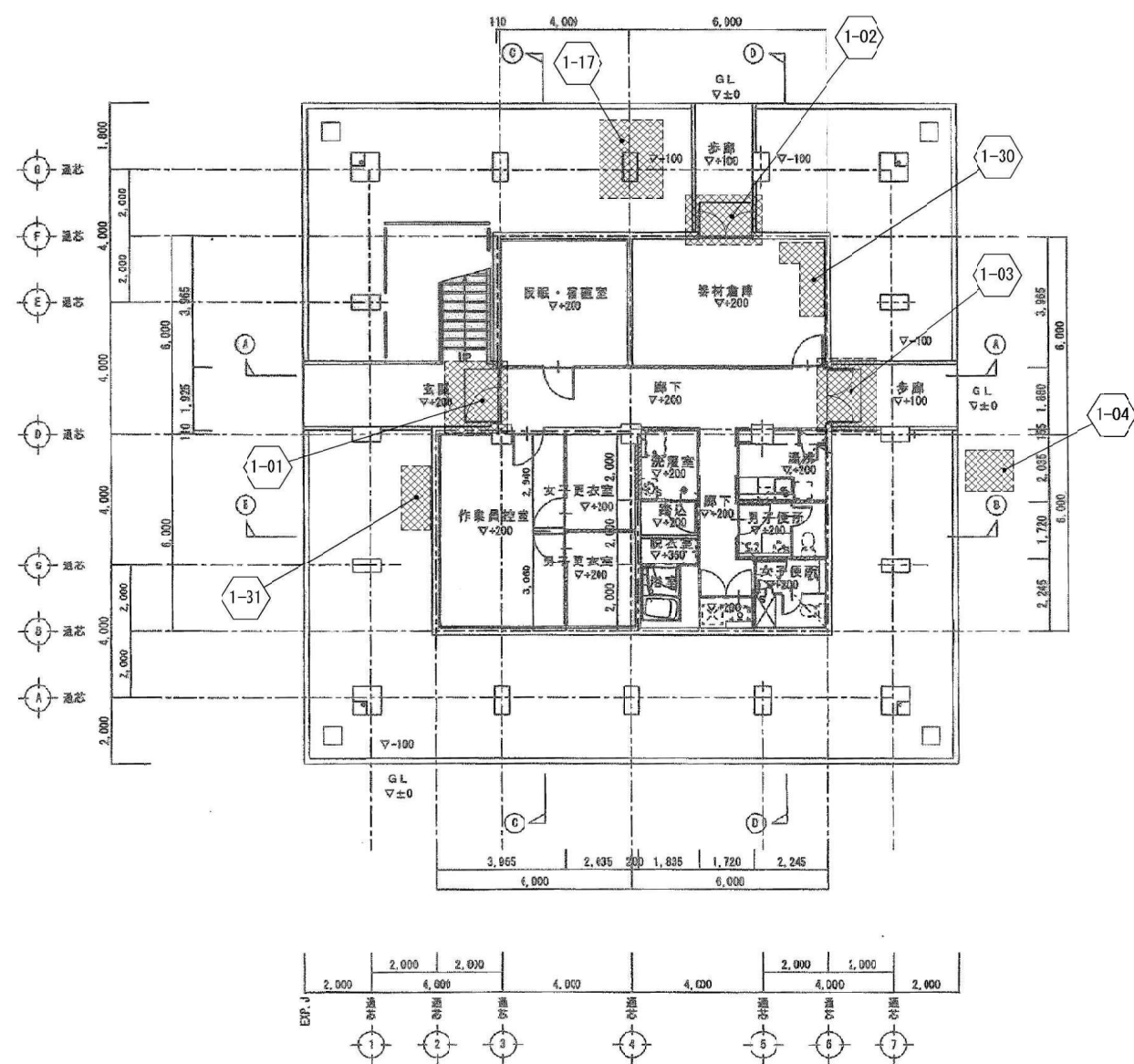
1 その他	1 （品質・性能） 項目	材質等 【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形材」に規定するA6063S-T5、またはこれと同等の性能を有するもの 表面処理 JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被覆膜」のB又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被覆」に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS 304、SUS430J1L、SUS443J1またはこれらと同等の性能を有するもの 【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 屋内外用に同じ。ただし、その他の構成材（底板、補強材、コーナースペース等）は、屋内用の材質のものとする。 表面処理 屋内外用に同じ。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 屋内外用に同じ。 【鋼板の場合】 材質 鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。 防錆処理 JIS G 3313又は鋼板等に標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの。 【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 屋内外用又は屋内外用に同じ。 表面処理 屋内外用又は屋内外用に同じ。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 屋内外用又は屋内外用に同じ。 【鋼板の場合】 材質 屋内外用に同じ。 表面処理 屋内外用に同じ。 【鉄鋼板の場合】 材質 JIS G 5501「おずみ鉄鋼品」に規定するFC150、FG200、【上記以外の鋼金】 材質 塩化ビニル樹脂製 【黄銅製の場合】 材質 JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2901又はJIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはJIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはJIS G 4308に規定するSUS304もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4009「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するAA1100H14または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 光沢用、耐食材、コーナースペースの部分がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板と同等。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【鋼板の場合】 材質 鋼板はJIS G 3313に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。またはこれと同等の性能を有するもの。 JIS G 3313または鋼板等に標準仕様書表18.3.1および表18.3.2の錆止め塗料塗等の防錆処理を行ったもの。もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 バック材 塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジフォーム、エチレンプロピレン等外装と異なる材質、形状に適する弾力性及び密着性を有するもの。 アンカー材 鋼板に電気亜鉛めっき又は防錆塗装を行ったもの。または同等の防錆性能を有するもの。 裏面防錆処理 黄銅鋼板製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋳造品、ステンレス鋼板鋼板製の壁平ら材質のもの、ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材等で被覆した合成樹脂製のものは、腐蝕による変形・割れが生じない構造のもの。 足 黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製（クロムめっき）の型。 品質 項目 品質等 構造 1.加工、受け枠・重枠とも両側の接続部を目違いし、ずれ・隙間等がない構造であること。 2.組立は、受け枠・重枠とも両側の接続部を溶接継合および溶接材等により溶接した構造であること。 3.所定断面において重枠と受け枠に面外目違いのない構造であること。重量と受け枠の接触部は、面外目違い等が生じない構造であること。 4.受け枠の開口部は、面外目違いのない構造であること。 5.アンカーは、両端部等かつ壁面に固定できる位置にあること。 許容差 重量の許容差 受け枠基準寸法 600mm角程度まで 受け枠寸法の許容差 ±0.5mm 重枠寸法の許容差 ±0.5mm 受け枠と重枠のクリアランス 片側2.0mm以内 性能 薬の耐荷重性能 イ) 加圧する加圧値Pn=1,000N ロ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ハ) 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと 二) 破壊荷重が、加圧荷重の2倍以上 (試験方法) 耐荷重試験 （1）試験体 試験体は、受け枠・重枠ともアルミニウム製を含む場合は、アルミニウム製（目地材にステンレス製等を使用したもの可）を優先する。また、仕上げ材を張付けないもの（底版面）とする。 イ) 貼付用とし、600mm角程度とする。 ロ) 枠見込みは40mm以下とし、蓋の底版は単層の製品で、補強材は各製品のうち断面係数が小さいものとする。また、材質、厚さ、形状及び位置は、常時生産品とする。 （2）試験 イ) 試験は、蓋枠の両端を支持させ、蓋の中央部より50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ロ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ハ) 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返して行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。	2 手すり	材質 ・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドレール 表面仕上げ ・ クリアアクリル ・ HLL程度 ・ S O P ・ E P-G 直径 (mm) ・ 35 ・ 45 取付箇所	3 天井吊り钩等	発及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材種 ・ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品	4 視覚障害者誘導用ブロック	（11、2、2、19、2、2） 施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 屋内 ・ 塩化ビニル製 ※ 300×300 ・ 7.0 ・ セラミックタイル ※ 300×300 ・ ・ レジコンクリート製 ※ 300×300 ・ ・ コンクリート型 屋外 ・ セラミックタイル ※ 300×300 ・ ・ レジコンクリート製 ※ 300×300 ・ ・ コンクリート製 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による	5 鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（5、2、1）（表5、1） 種類の記号 呼び名 備考 ※ S D 2 9 5 A ※ D 1 6 以下 ※ S D 3 4 5 ※ D 1 9 以上	6 溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（5、2、2） 種類 網目寸法、鉄線の径 (mm) 備考 ※ 溶接金網 ※ 鉄筋格子	7 鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（5、3、4） 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5. 3. 2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける環の引っ張り鉄筋の直線定着長さは4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5. 3. 4 による 機械式定着工法 ・ 適用する ・ 適用箇所 種類 ※ 摩擦圧接接合 ※ 鋸合グラウト固定 ※ 嵌合グラウト固定	8 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（6、2、1～4） ※ 普通コンクリート 設計基準強度 (F c) スランプ (c m) 適用箇所 ※ N /mm2 ※ 2 4 ※ 標準仕様書表6.2.2による ※ コンクリート全て（無筋コンクリートを除く） ・ ・ ・	9 セメント	種類（6、3、1） ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	10 型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（6、8、2） せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 1 2 mm ・) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を使用した型枠 厚さ2 5 mm以下かつ熱伝係数1 m h℃ / k C a I 以上	11 無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による（6、14、1） 種 類 設計基準強度 (F c) スランプ (mm) 施 工 箇 所 ※ 普通コンクリート ※ 1 8 ※ 1 5 ※ 標準仕様書表14.1(4) (7)～(8)による ・ ・ ・ 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	12 床コンクリート 底均し仕上げ	仕上りの平たんさは、図示以外は下記による（8、1、4）（表8、1、5） 改修標準仕様書表6.1.5による平たんさの種類 a 種 合成樹脂床材、ビニル系床材張り、床コンクリート面均し仕上げ、フリーアクセスフロア（蓋敷式）（ ） b 種 カーペット張り、防水下地、セルフベリング材張り（ ） c 種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア（支柱調整式）（ ）	13 あと施工アンカー	（14、1、3） 6章内装改修工事 経路線が天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない	14 トイレブース	表面材の材料 詳細 ドアエッジ ※ メラミン樹脂系化粧板 ※ 幅木タイプ ※ アルミニウム製 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材 (品質・性能) (1) パネル 項目 品質・性能 表面材 メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。 裏打材 JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防炎処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 心材 JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。 枠材 JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。 エッジ材 防水処理を施す。 小口 防水処理を施す。 (2) 構造金物 項目 品質・性能 詳細 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。 (3) 付属金物 項目 品質・性能 センジ 耐熱性のあるものとする。 ラッチセット 戸当り 腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。 (4) 外板は、JIS A 6512「可動間仕切り」の5b) による。 (5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひびくき性・開閉耐久性 項目 品質・性能 耐薬品性及び耐汚染性 耐ひびくき性 メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材 JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化板」の表9品質による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。 - 低圧メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧板 JAS「合板の日本産規格」第9条特種加工化粧板に示された耐汚染性試験において、試験片の表面に色が残る平均値が10以内であること。 ポリエステル樹脂系化粧板MDF JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧
----------	--------------------	---	----------	--	-------------	---	-------------------	---	---------	--	-----------	--	----------------	--	--------------------------------	--	-----------	--	----------	---	----------------	---	-------------------------	---	----------------	--	--------------	---



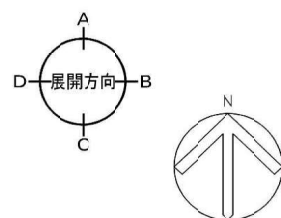
令和6年度竹原浄化センター耐水化実施設計業務			
工 事 名	竹原浄化センター耐水化工事		
工事場所	広島県竹原市下野町字百良崎		
図面番号	A-01	縮尺	-
図面名	付近見取図		
竹 原 市			



令和 6 年度竹原浄化センター耐水化実施設計業務			
工 事 名	竹原浄化センター耐水化工事		
工事場所	広島県竹原市下野町字吉良崎		
区画番号	A-03	縮尺	1/640
図面名：	配置図		
竹 原 市			



管理棟-1 1階平面図 1/200



令和5年度竹原浄化センター耐水化実施設計業務			
工 事 名	竹原浄化センター耐水化工事		
工事場所	広島県竹原市下野町字吉良崎		
図面番号	A-04	縮尺	図 示
図面名	管理棟-1 : 1階平面図		
竹 原 市			